

原料費調整制度に基づく2022年5月検針分ガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2022年5月検針分の原料費調整単価を **89.3 円/m³ (税込)** とさせていただきます。
これにより、平均的なガス使用量 (10 m³/月) では2022年4月検針分のガス料金に比べて **207 円 (税込) の値上げ**となります。

●原料費調整内容 (基準料金表)

※下記料金は税込表記です

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,815 円	0 m ³ から 5 m ³ まで	539 円/m ³	89.3 円/m ³
	5 m ³ をこえて 20 m ³ まで	484 円/m ³	
	20 m ³ をこえて 30 m ³ まで	462 円/m ³	
	30 m ³ をこえて 40 m ³ まで	418 円/m ³	
	40 m ³ をこえる場合	374 円/m ³	

※アパート等賃貸住宅にて弊社負担の消費設備等をお客様に貸与している場合またはメンテナンス契約対象の消費設備をご利用いただいている場合、基本料金とは別に「設備使用料」935 円 (税込) 計上させていただきます。

●平均的なガス使用量

※下記料金は税込表記です

月間ガス使用量	2022年4月ガス料金<A>	2022年5月ガス料金	前月比
10.0 m ³	7,616 円	7,823 円	+207 円

※従量単価に加減される原料費調整単価及び料金計算途中で計算される小数点以下の四捨五入等により実際の金額とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

●原料価格など指標の推移

	1 月	2 月	2 月
中東 LPG 指標: CP (ドル/トン)	740	775	895
北米 LPG 指標: MB (ドル/トン)	606	678	
為替レート: TTS (円/ドル)	115.85	116.22	
フレート (船賃): RIM (ドル/トン)	63.9	63.2	

●計算方法

基準原料価格	66,000 円/トン
FOB 価格	中東合成 CP 835 ^{ドル} × 70% + 北米 MB745 ^{ドル} × 30% = 808 ^{ドル} 中東合成 CP (2月 CP775 ^{ドル} + 3月 CP895 ^{ドル}) ÷ 2 = 835 ^{ドル} 北米 MB2月 MB678 ^{ドル} + 67 ^{ドル} (ターミナルフィー) = 745 ^{ドル}
フレート価格	(中東フレート 63.2 ^{ドル} × 70%) + (北米フレート 114.12 ^{ドル} × 30%) + 2 ^{ドル} = 80.5 ^{ドル} 中東フレート (RIM フレート) 63.2 ^{ドル} 北米フレート (RIM フレート) 63.2 × 1.6 倍 + 13 ^{ドル} (パナマ運河通行料) = 114.12 ^{ドル}
円換算	2月1日～末日 TTS 平均 116.22 円/ドル
LPG 輸入価格	(FOB 価格 808 + フレート価格 80.5) × 116.22 円 = 103,261.47... → 103,300 円/トン
当月原料価格	103,300 円/トン + 石油石炭税 1,860 円/トン = 105,160 円/トン
原料費調整単価	(当月原料価格 105,160 円 - 基準原料価格 66,000 円) ÷ 1,000 ÷ 0.482 = 81.2

2022年4月ガス料金の原料費調整単価は1 m³あたり 89.3 円 (税込) です。